

新潟市医師会 第116回 在宅医療講座

3月15日 平成31年 午後7時15分から ※開場6時45分
日(金) (閉会：午後8時30分)

講演



新潟市急患診療センターの 現状と崩壊を防ぐために ～超高齢社会における救急医療を考える～

新潟市急患診療センター
センター長

山添 優 先生

会場：新潟ユニゾンプラザ4階 大研修室
(新潟市中央区上所2-2-2 TEL：025-281-5511)

主催：一般社団法人新潟市医師会 (担当：横田理事)

定員：先着200名 (ご参加いただく場合は、裏面の「申込書」をご送付ください)

入場
無料

新潟市急患診療センターは、昭和48年新潟市医師会が設立し、平成12年からは新潟市公設、新潟市医師会委託運営となり今日に至っています。設立以来徐々に体制を強化し、現在は8診療科となり、内科・小児科は深夜の診療も行い初期救急医療に貢献しています。しかし、医師看護師不足等による医療職の確保困難、昨今の人手不足による事務職員の確保困難により診療体制の維持にかなりの努力を要しているのが現状です。

一方、救急搬送は増加し、超高齢社会を迎えて搬送患者に占める高齢者の割合も年々増えており、国は2025年に向けて地域医療構想を進めていますが、救急患者の搬送困難、死に場所難民の増加が危惧されています。また、在宅医療を受ける高齢者が増加する中で、救急医療と在宅医療との連携の強化が求められています。

今回は、地域包括ケアシステムの構築が進められているなかでの、新潟市急患診療センターを含めた初期救急医療の課題と超高齢社会における救急医療を考えてみたいと思います。

この講座は在宅医療は未経験という先生がたにもお勧めの内容です。

新潟県医師会生涯教育講座認定1.0単位

カリキュラム内容：12.「地域医療」 14.「災害医療」